

労働市場の概要（平成26年8月）

岡山労働局 職業安定課
Tel 086-801-5103

雇用情勢

平成26年8月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.41倍となり、前月に比べ0.08ポイント低下。

前月と比較して、有効求人数(季節調整値)が4.6%減少し、有効求職者数(季節調整値)では0.4%増加した。また、新規求人数(季節調整値)が7.2%減少し、新規求職者数(季節調整値)では5.5%増加した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、建設業(3.9%増)、製造業(12.9%増)、運輸業・郵便業(5.0%増)、卸売・小売業(3.8%増)、宿泊業・飲食サービス業(5.6%増)で増加し、医療・福祉(7.8%減)、サービス業(他に分類されないもの)(42.0%減)で減少し、全体では対前年同月比4.8%減と50ヶ月ぶりに減少した。

新規求職者数(原数値)は、前年同月比で6.7%減と21ヶ月連続で減少した。有効求人倍率(季節調整値)は、前月に比べ0.08ポイント低下したが、前年比較では引き続き改善が続いており、県内の雇用情勢は改善しているものの、労働力需給の逼迫状況はやや緩和している。

1 有効求人倍率(季節調整値)

8月の有効求人倍率は1.41倍となり、前月に比べ0.08ポイント低下。

[過去最低:昭和38年1月の0.51倍]

(1)有効求人(パートを含む)

○ 8月の有効求人は46,230人で、対前年同月比(原数値比較)で5.0%増加し、対前月比(季節調整値比較)では4.6%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で52ヶ月連続での増加となった。

(2)有効求職(パートを含む)

○ 8月の有効求職は33,084人で、対前年同月比(原数値比較)で5.9%減少し、対前月比(季節調整値比較)では0.4%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で19ヶ月連続減少となった。

(3) 8月の正社員の有効求人倍率は0.90倍(原数値)となった。

2 新規求人倍率(季節調整値)

8月の新規求人倍率は1.90倍となり、前月に比べ0.26ポイント低下。

(1)新規求人(パートを含む)

○ 8月の新規求人は15,186人で、対前年同月比(原数値比較)で4.8%減少し、対前月比(季節調整値比較)でも7.2%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)では50ヶ月ぶりの減少となった。

○ 産業別新規求人状況(対前年同月比)は、

| | |
|------------|---------------------|
| 建設業 | 3.9%の増加(2ヶ月ぶりの増加) |
| 製造業 | 12.9%の増加(14ヶ月連続で増加) |
| 運輸業・郵便業 | 5.0%の増加(2ヶ月ぶりの増加) |
| 卸売・小売業 | 3.8%の増加(3ヶ月ぶりの増加) |
| 宿泊・飲食サービス業 | 5.6%の増加(10ヶ月連続で増加) |
| 医療・福祉 | 7.8%の減少(15ヶ月ぶりの減少) |
| サービス業 | 42.0%の減少(21ヶ月ぶりの減少) |

(2)新規求職(パートを含む)

○ 8月の新規求職は7,401人で、対前年同月比(原数値比較)で6.7%減少し、対前月比(季節調整値比較)では5.5%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)は21ヶ月連続の減少となった。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は555,560人で、対前年同月比1.2%の増加となり、56ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は、7,914人で対前年同月比は13.3%減少し、受給率は1.4%であった。